

古いナース

岡本 悠

巻野は、最期を、看取ってもらった

大野さんは、元、ナース

つまり、看護師の仕事をしていた

かわいらしい顔をしていたが

責任感が強くて

相手を気づかう癖があった

よく「私のせいで…」

という言葉を使っていた

大野さんは、仕事場での信頼も厚く

重要な仕事も任されていた

やはり、ナース出身ということが

そうさせていたのかもしれない

冬

大野さんは、仕事場に現れた

巻野は、入りたての大野さんに話しかけた

大野さんは「大谷翔平は、歳も近いけど、私なんか全然…」

と言うので

「いや、大野さんだって、凄くないですか」

と返した

午前中に仕事を入れた時などは、

大野さんが、仕事を教えてくれた

丁寧に教えてくれるが、

こちらがミスをすると

いつものように

「すみません、私の説明が悪かったので…」

と言った

段ボールを整理していると

邪魔でしたか？ の問いに

「いや、私が邪魔かなと思いました」と返して

本当に、よく、気を遣うなと感じた

トイレに入っていたら、大野さんが、ロッカールームで話している声が聴こえた

「いや、最近、音楽まったく聴かないんです…」

と、喋っていた

大野さんと、まともに話をしたのは、最初の1回だけで、その後はまったく、まともに世間話をしなかった

謝肉祭の日、神は巻野に罰を与えた

怒り狂う、牧野の仕事の担当は、大野さんだった

大野さんは、そんな俺に、親切に対応してくれた

普段、2回も注意されない俺が

大野さんに、何度も仕事のミスを指摘された

まあ、これはしょうがないとしても

その時も、大野さんは

「私の説明が悪かったので…」

「私の説明が悪かったので…」

と、繰り返した

大変や役目をさせてしまったが、

最後まで、親切な人だった

俺は、その日を最後に、仕事場を辞めた

帰り際には、大野さんはいたか、いなかったか、憶えていない

なんとなく、好きだった

薬指には、結婚指輪が光っていたから、特に、干渉しなかったけど…

俺の最後の仕事を看取ってくれたのは、大野さんだ

俺の病名は「仕事ができない」「人間関係がうまくできない」という病気だ

ナースは静かに云った「私のせいで…」

「完」